

# 川崎の男女共同社会を **すすめる会通信** No.217

●連絡先 藤井光子 [hymico@me.com](mailto:hymico@me.com) ☎&FAX 044-944-7872 ●発行日2022年9月10日  
〒214-0003 川崎市多摩区菅稲田堤3-8-2-503 ●HP <http://web-k2.jp/ssk1985/>

## 非正規シングル女性の 現状とこれから

コロナ禍で女性たちの働き方は…

2022

Part.3

10/22(土)

13:30~15:30

### ■講演

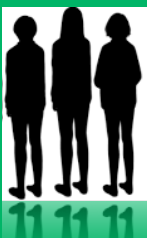
講師：飯島裕子さん

ノンフィクションライター・大学講師  
著書『ルポ コロナ禍で追い詰められる女性たち』  
『ルポ貧困女子』『ルポ若者ホームレス』など

### ■トーク&トーク

フロア発言／参加者・講師との意見交換

令和4(2022)年度川崎市男女共同参画センター協働事業



場所：すくらむ21 第1・2研修室(2F) 先着20名

▶協力：NPO法人ワーカーズネットかわさき

長引くコロナ禍、パートやアルバイト、派遣など、非正規で働く女性の多くを襲った解雇や雇い止め。シフトカットという事業主都合による休業。どんな働き方をしても安心して生きられるために必要な事、一緒に考えましょう。

## すくらむ21▶第1回トークサロン

1990年~2020年 女性たちは…

「かわさきで生きる女性の声聞き書き」調査 始まりました

ゲスト：中村 <sup>りつこ</sup>立子さん 川崎市男女共同参画センター初代館長  
インタビュアー：林 美子さん

すくらむ初代館長の中村さんが、理系大学で教鞭をとるようになった生い立ちと、なぜ川崎で「女性センター」や女性行政審議会に関わるようになったかなどを語りました。【聞き手】すすめる会2名  
金子幸子さん(女性史研究)・ソロプチミス  
ト川崎・ジェンクロスかわさき (藤井)

9/2  
すくらむ21  
の取り組み

2022年度川崎市男女共同参画センター

### ●協働事業交流会 8/28

参加/6団体・インターンシップ生14名

- ① 川崎の男女共同社会をすすめる会
- ② ウィメンズ、ジャズ、フェスティバル実行委員会
- ③ ダブルケアかわさき
- ④ ジェンクロス・カワサキ
- ⑤ yellowrocket
- ⑥ パソコンサポートまうすなび

以上の順番で6団体が、協働事業の報告を中心に各団体15分、質問、意見交換を行いました。

### ◆交流会 活発に 小林英子

まず今年度の協働事業は、それぞれ、講座開催、イベント、ワークショップ、学習などバランスがとれた形態が実施されると思われました。

すくらむ側の目的である、現在の男女共同参画が直面する課題の共有に見合った報告、質問等が多く出され、参加された方から日頃の活動内容等を、くわしく聞くことが出来ました。

またすすめる会には、学生さんから、自分が目指す職業には、正社員よりも非正規が多いので不安です。という質問がありました。まず今の時点でなりたい仕事があるのは素晴らしく、雇用形態も様々なのでいろんな道をさぐってみてはという答えとしては不十分でしたがお話をしました。

そのほか、講座やワークショップの参加者とのやりとりなどを、どうすれば円滑に出来るかなどみなさん日頃から工夫され、実施している様子がとても参考になりました。

10月の講座にむけて、がんばりたいと思います。細谷あつ子さんと参加。

# ジェンダーと宗教右派

細谷あつ子

7月8日、安倍元首相が銃撃により死亡しました。事件の経緯から、旧統一教会と政治家の関係が大きく取り沙汰され、報道され続けています。ありとあらゆる言い訳、開き直り、知らないふりのオンパレードをみせつけられているかのようなのですが。

最近、『宗教右派とジェンダー』といったタイトルの番組がネットTVやラジオ番組で取り上げられています。YouTubeのポリタスTV、Radio Dialogue、TBSラジオの荻上チキSessionで、社民党のYouTubeチャンネルでも、ジェンダーや社会学、人類学が専門のモンタナ州立大学の山口智美さん、富山大学の斎藤正美さんが相次いで出演し、1990年代後半から現在に至るジェンダーバックラッシュやジェンダー問題に、旧統一教会や神道政治連盟、日本会議、新生仏教教会など宗教右派と呼ばれる団体がどのように関係してきたか、そして自民党（自民党だけではないのですが）との親和性や政策に影響を与えてきたかを解説しています。（お二人は、実際に宗教団体にインタビューしたり、集会に参加して情報収集したり研究をされています。社会運動の戸惑い、フェミニズムの『失われた時代』と草の根保守運動 に詳しく書かれています。）

大変不見識で恥ずかしいのですが、ジェンダーバックラッシュは、ジェンダー平等に対する、もやもやとした、得体のしれない、社会的な雰囲気のようなものだと思っていました。ジェンダー平等の機運や認識が広まるにつれ、それを苦々しく思うおっさんの嫌がらせの様に感じていました。それが何なのかを理解しようともせず。

これらの番組を聞いて驚いたのは、おっさんの嫌がらせの正体があったということです。それが宗教右派でした。

まずは2000年代初頭、男女共同参画基本法の制定が地方行政で条例化する過程で策定のための市民委員として世界日報（旧統一教会の日刊紙）の記者が入り込んでいた例、ここでは条例を周知のための寸劇の内容がこの市民委員によって『親の介護は子どもがするのが当然』『お年寄りを大事にしよう』などのメッセージが込められたものになっており、まさに条例の換骨奪胎が行われていたようです。また、宮崎県都城市の性的マイノリティの権利の擁護を盛り込んだ先進的な条例に対し、世界日報が『同性愛解放区』といったセン

セショナルな記事を書いたり、保守系議員向けの行き過ぎたジェンダーの勉強会などを開いて議会で取り上げさせるなどの活動をしていた事例が紹介されました。

つまりは草の根運動を地道に日本各地でくりひろげていたのです。草の根運動というと、ビキニ環礁で被爆した第5福竜丸事件から発生した原水禁運動、川崎ぜんそくや水俣病などの各地の公害運動などが頭に浮かびますが、いつのまにか草の根運動は保守勢力に乗っ取られてしまっているようです。

第1次安倍政権時の教育基本法の改訂で第10条『家庭教育』が導入されたことにより、『親学』や『家庭教育アドバイザー』といったメディアや地方行政の動きにも宗教右派が強くかかわっていたようです。伝統的な家族、家族が社会の一単位のような概念があちら側にとっては重要で〈宗教自体が父（崇め奉る教祖さま）とその家族（家父長によりすべてのことは決められていくシステムだから〉そこからからはみだす多様な性とか産む・産まない自由、結婚する・しない自由は認められないということでしょう。そんなところに自民党などの保守政党との親和性があることにはなんの違和感もありません。

リプロダクティブヘルス・ライツが盛り込まれた性教育の実施、選択的夫婦別姓、LGBT理解増進法、経口中絶薬の承認などが遅々としてすすまない原因も、この自民党と宗教右派との結束にあるようです。

赤ちゃんポストや、ベビーファースト運動、ライフデザイン・ライフプラン教育、官製婚活などちょっと目にはわからなくても、そのバックにいる団体や人物には注意が必要です。ちょっと考えてみれば、これだけ多彩に活動を広げているのは、もやもやしたものにできるはずもなく、強い意志があつてのことでしょう。見習うべきところがある…。

〈\*3面下段に続く〉



定年退職後、介護ヘルパーの資格を取りデイサービスに勤めています。身体が動く間のほんの一時のつもりでしたが、年金だけでは厳しい生活と、介護現場の慢性的な人手不足に辞めるきっかけを作れず、かれこれ10年ほどになります。

365日、一日20名ほどの利用者を看護師、生活相談員、介護士、調理員、送迎ドライバーがお世話していますが、長時間労働、責任の重さ、賃金の安さ、人間関係の煩雑さにいつ辞めるか考えながらの日々です。

何年か前に出会った所長は「今日会った利用者さんに次は会えないかもしれない、だから今日一日を楽しく過ごしていただくのがケアの仕事だ」と常に言っていました。ゲームはもちろん、時には皆を誘って部屋中をウォーキング、積極的に利用者さんに動いていただきました。

今は所長が代わって、事故を起こさないよう座っていることを強要してしまう。所長の介護に関する認識でガラッと変わります。

職員の介護に関する認識も、個人のセンスで変わります。介護に関心があれば誰でも介護職に就けます。其のあとが大切です。

永い人生を重ねて障害を負った、認知症になった、介護が必要になったなどこれらの

方々に対応するには、心理学的、社会学的、医学的など複合的な知識の習得が必須です。研修会なども行われていますがなかなか周知出来ないのが現状です。

「歯が痛くて食べられない」という利用者の訴えに、「あ、そう」という反応と、「次かおかゆや刻み食にしますか」と問いかける、この違いが実はとても大きいのです。

利用者の小さな変化に気が配れるか、昨日の失敗を今日生かせるか、利用者の自立を妨げていないか、常に検証が求められますが、短期間で入れ替わる職員の間で経験が途切れがちなのが現状です。

転倒やふらつき、嘔吐や意識喪失など常に行き起こるかわからない緊張感の中で、何か起これば責任を問われ、消耗していく働き甲斐、これは看護師も同じです。病状の報告がほとんど無い中で、急変した時の対応を強いられます。トラウマになります。

追い打ちをかけて、余りに安い賃金で生活できないと辞める人も。

「介護が必要になった高齢者を社会全体で支え」ていくには、介護に携わる労働者が経験と知識を積み重ね、質の高い技術を身に付け、誇りをもって働ける環境作りが急務です。

## ↓ 2面からの続き



この30年間に及ぶバックラッシュの歴史を知り、現在、地域で何が起きているかを注意深く見ていくことが重要だと思い知らされました。

今回、川崎ではどうだったのだろうと、すすめる会『10周年記念誌』や川崎の女性のあゆみをぱらぱらと読み、昨年亡くなられた和光大学名誉教授だった井上輝子さんの、『すすめる会ができた1985年からバックラッシュの波に襲われるまでの約20年間、川崎市は男女平等の取り組みにおい

て、行政計画や施策においても、市民側の女性運動においても、……全国でも先進的な都市であったと思う』という文章に出会いほっとしましたが、『最近の川崎市の女性をとりまく状況をみると、ちょっとさびしい気がする……すすめる会を創り出した頃の初心に戻って、21世紀に進むべき道を切り拓く必要があるのでは……』とありました。胸に刻みます。

## 女性ニュース

### ◆ 映画界のジェンダーギャップ

7月5日 映画監督やジャーナリストらでつくるJapanese Film Project (JFP)が発表した「日本におけるジェンダー調査2022」によると2021年に公開された興行収入10億円以上の映画16本の中女性監督は0本。

大手映画4社（東宝・松竹・東映・KADOKAWA）がこの4年間にラインナップした181本中、女性監督の制作は5%。ジェンダーギャップの大きな日本の映画界の実態が浮き彫りになった。

### ◆ 公共の場の生理用品無償 スコットランド

8月15日 スコットランドで地方自治体や教育機関に対し、生理用品の無償提供を義務付ける法律が施行された。

世界で初めて公共の場で生理用品を無償で利用できる権利が法的に保護されることになりました。法律は2020年11月に議会で採択。試験導入は2017年、すでに2700万ポンド（約43億7000万円）以上を費やし公共の場における生理用品の無償提供を実現してきた。

### ◆ 審査員の77%が男性

8月24日 美術や音楽、マンガなど文化芸術の9分野のコンペなどの審査員と対照受賞者のジェンダー比を10年間逆上って調べたところ、審査員の77%大賞受賞者の66%を男性が占めていたことが分かったと美術家らで作る団体が発表した。

公表したのは創作の場のジェンダー平等を目指す「表現の現場調査団」今年9分野（美術・演劇・映画・文芸・音楽・建築・デザイン・写真・マンガ）を対象に2011～2022の各分野の代表的な賞のジェンダー比を調べ「ジェンダーバランス白書2022」としてまとめた。

### ◆ フェミサイド（女性を標的とした殺人）を許さない

9月2日 アルゼンチン主要都市で女性副大統領暗殺未遂事件に抗議し、民主主義と国民の団結を呼びかけるデモが取り組まれた。9月1日副大統領が女性であることから襲われたとす

すすめる会通信217号

てアルベルト・フェルナンデス大統領は2日を休日とし、集会への参加をよびかけた。首都ブエノスアイレスでは10数万人が参加しました。

### ◆ 防衛省一ハラスメント調査

9月6日 浜田防衛大臣は全自衛隊を対象に、ハラスメントの実態を調べるため防衛省直轄の防衛監査本部による「特別防衛観察」を実施すると発表した。

元陸上自衛官五ノ井里奈さん（22）が訓練中の性被害を訴えて調査を求めたことや、ハラスメントの相談件数が増加していることを踏まえ、抜本的な防止対策の必要があると判断。

相談への対応状況の緊急点検や対策の見直しのための有識者会議を設置する方針もあきらかにした。防衛省によると2021年度ハラスメント相談件数は2311件（パワハラ150件、セクハラ・マタハラ161件）で、16年度の256件（内容不明）から大幅に増加した。

### ◆ 性被害一告発ふえる

8月10日 中国でひとりの女性が国営TVの著名な司会者をセクハラで訴えた裁判は証拠不十分で原告の訴えは却下された。事件が起きたのは2014年インターンとして番組に携わり、被害にあった。

\*\*\*\*\*

## ■ これからの活動

9月16日(金) 10:00～

幹事会 市民活動センター

## ■ 活動日誌

7月 2日(土) NPO法人ワーカーズネット総会

7月17日(日) 通信印刷・発送

7月29日(金) 幹事会 すくらむ21

8月 8日(月) ワーカーズネット運営委員会

8月28日(日) 協働事業団体交流会すくらむ21

9月2日(土) 川崎で生きる女性の声聞き書き  
トークサロン中村立子さん すくらむ21

・女性による女性のための相談会実行委員会

9月 5日(月) 幹事会 すくらむ21

9月 8日(木) ワーカーズネット運営委員会